萩市

令和4年
3月

河川洪水ハザードマップ

―― 須佐川（須佐）

この図は国土地理院の基盤地図情報（数値標高モデル）を加工したものです。

河川洪水ハザードマップについて

水防法の改正に伴い「想定最大規模の降雨を想定した浸水想定区域図」などが新たに指定・公表されたことを受け「萩市河川洪水ハザードマップ」を改訂しました。

このハザードマップでは萩市で想定される大雨によって引き起こされる災害を知っていただき、対策を考え、もしものときに少しでも被害を軽減することを目的に作成しています。

このハザードマップには、須佐川（須佐）が氾濫した場合の範囲とその水深を示し、避難場所や避難の際の危険箇所などを表示しています。

● 利用にあたって注意して頂きたいこと ●

浸水想定区域は、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫などを考慮していないため、浸水想定区域外への浸水や、実際の浸水が想定される浸水深よりも深くなる場合があります。

実際の水害時には、状況に応じて避難情報が出されますが、危険を感じた場合は細心の注意をはらい、早めに自主避難を開始してください。

● 連絡先

萩市役所 総務部 防災危機管理課	須佐総合事務所	弥富支所
TEL：0838−25−3808 FAX：0838−21−3501 E-Mail：bousai@city.hagi.lg.jp	TEL：08387−6−2211 FAX：08387−6−3406	TEL：08387−8−2211 FAX：08387−8−2212

災害への心構え

ハザードマップの活用について

家の位置を確認し、避難経路を考えよう

あなたの家の場所をマップに書き込み、最寄りの避難場所・避難所を複数選びましょう。

実際に避難場所・避難所まで歩いてみよう

地図で選択したそれぞれの避難場所・避難所までの経路を確認しましょう。また、避難経路が安全かどうか、避難にどのくらい時間がかかるかについても確認しましょう。

家の周りの災害の危険性を確認しよう

あなたの家は、土砂災害による警戒区域もしくは、浸水が想定されている地域ですか？家の周りにブロック塀などの危険な場所はありませんか？

災害や避難について、話し合ってみよう

あなたの家だけでなく、家族の職場や学校、よく行く場所などについても避難所や危険性を確認しましょう。

萩市を襲った過去の豪雨災害

平成 25 年 7 月 28 日に萩市東部地域を襲った局地豪雨では、須佐地域で 1 時間の降水量が 138.5mm、わずか 3 時間あまりで 7 月の月降水量の平均値（281.6mm）を上回る 301.5mm を記録し、気象庁から「これまでに経験したことのないような大雨」と発表されるなど記録的な豪雨となり、甚大な被害を及ぼしました。

浸水した須佐総合事務所付近

崩落した高岩橋

地域での防災活動

自主防災組織に参加しましょう

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という、地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて結成される防災組織のことです。お住まいの地域に自主防災組織があれば、積極的に活動に参加し、地域で防災訓練等の防災活動に取り組みましょう。

防災出前講座

萩市では、近年頻発する災害等に迅速に対応するため、防災の専門知識・経験を持った地域防災マネージャーを平成 29 年から設置しました。地域の防災力アップを目標とした、防災出前講座に地域防災マネージャーが伺い、防災・減災や災害リスクについて詳しく解説します。

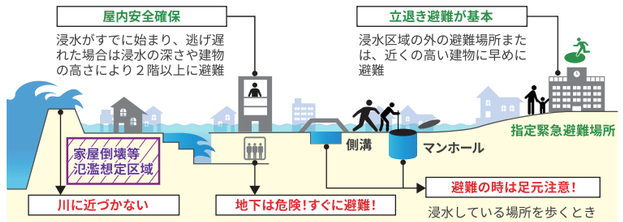
お問合せ 防災危機管理課 ☎ 0838-25-3808

地域での助け合い

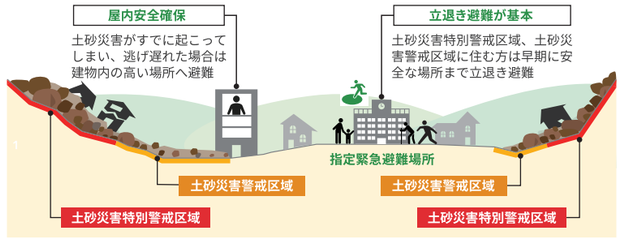
行動は 2 人以上で家族や近所の人たちと一緒に行動しましょう。お年寄りや身体の不自由な人などの手助けをしましょう。

洪水・土砂災害の特性と避難行動

洪水の特性　避難時の正しい安全確保について知っておこう！



土砂災害の特性　土砂災害の危険性と避難行動について知っておこう！



２種類の土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

建物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に目立つ危険が生じるおそれがあると認められる区域

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

住民等の生命または身体に危険が生じるおそれがあると認められる区域

避難のポイント

建物の２階以上の斜面と反対側の部屋や近くの丈夫な建物の上階に避難

土石流の場合、流れからできるだけ離れ、土砂の流れとは垂直方向に逃げる

日頃からの備え【 避難用品の準備と自宅の確認 】

非常持出品　必要なものを持てるだけ！ これがないと絶対ダメというものを準備

生活必需品
- □ 水（水筒またはペットボトル）
- □ 非常食
- □ スマートフォン、携帯電話
- □ 予備バッテリー
- □ 充電用コード
- □ 携帯トイレ
- □ トイレットペーパー など

女性の方
- □ 生理用品
- □ 消臭袋
- □ 髪留め用品
- □ くし
- □ 保湿クリーム
- □ 帽子
- □ 眉ペンシル など

乳幼児がいる方
- □ 粉（液体）ミルク
- □ 哺乳瓶
- □ ベビーフード
- □ オムツ　□ 消臭袋
- □ お尻ふき　□ 抱っこ紐
- □ 母子手帳
- □ 予防注射予定一覧
- □ おもちゃなどお子さんが落ち着ける物 など

ご高齢、介護の必要な方
- □ 眼鏡　□ 補聴器
- □ 入歯と手入れ用品
- □ 口腔ケア用品
- □ 介護用品　□ 大人用オムツ
- □ 介護用ウェットティッシュ
- □ 常備薬　□ お薬手帳
- □ 常用器具　□ 保険証のコピー
- □ かかりつけ医院や担当医、持病履歴等のメモ など

目の悪い方
- □ 眼鏡の予備
- □ コンタクトレンズと手入れ用品 など

感染症対策
- □ 手指消毒液等
- □ マスク
- □ 体温計 など

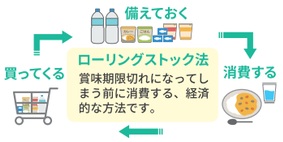
非常持出品は両手がふさがらないように、リュックに入れましょう。

背負えない場合は、カートを利用しましょう。

被災後に備える　ローリングストック法で非常食や日常品を準備しましょう！

普段の食事の中にローリングストック法を取り入れ備えましょう。

ローリングストック法とは、買ってきた食料品や日常品を買い置きし、食べて使用するたびに買い足します。主食は、無洗米を【1 合半（225ｇ）× 人数 × 備える日数】で準備すると良いでしょう。カセットコンロと予備ボンベは必需品です。



被害を抑えるための自衛策

家の周りを確認しましょう

日頃から、台風や大雨時に備え、家の周りの点検や掃除をしておきましょう。

- □ 屋根の瓦のひび・割れ・はがれはないか。
- □ 窓枠や雨戸にがたつきはないか。
- □ 壁に亀裂はないか。
- □ 雨どいに落ち葉などが詰まっていないか。
- □ 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか。
- □ ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばされないように固定しているか。

家屋の浸水を軽減しましょう

ご家庭にある物を利用し、家屋への浸水を防ぎましょう。玄関などの出入口や、床下への浸水防止の対策を行いましょう。

●土のう代用品

【簡易水のう】
ごみ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱に入れ連結します。

【ポリタンク】
ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結します。

【プランター】
土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

●水回りの排水溝

簡易水のうを置き排水溝の逆流を防ぎます。

●止水板

出入口は長めの板と簡易水のうなどを使用し、浸水を防ぎます。

●風呂の貯水

風呂の貯水は下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。

防災情報【 防災情報の伝達と入手方法 】

防災情報の伝達方法

- **気象情報**　雨量情報等を参考に気象庁が発表
- **河川水位情報**　山口県の水位観測所で観測された情報
- **土砂災害情報**　雨量情報等を参考に気象庁と山口県が発表
- **避難情報**　各種情報から萩市が発令

→ **災害情報・避難情報等** →

- 報道機関等 テレビ（ケーブル TV 等） ラジオ（エフエム萩等）
- 萩市防災メール エリアメール スピーキャン・ライデン
- 防災行政無線 屋外スピーカー等
- 町内会や自主防災組織の伝達方法

→ **住民のみなさん**

困った時の対応・連絡先

消防	119	火事が発生した！大ケガをした！
警察	110	事件・事故がおきた！
災害用伝言ダイヤル（安否確認）	171	

録音するときは 1　再生するときは 2

※ガイダンスが流れるので、その指示に従って落ち着いて録音・再生してください。

萩市内の連絡先

萩市役所 Hagi City Office	0838-25-3131
萩市消防本部・消防署	0838-25-2772
萩警察署 Hagi Police Station	0838-26-0110

河川が氾濫した際の浸水継続時間については山口県の HP で確認することができます。
https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/201901190001.html

他のハザードマップ作成状況

萩市ホームページから各種ハザードマップがご確認頂けます。これらのハザードマップはホームページから PDF 版がダウンロードできます。
https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/7/h21628.html

津波・高潮ハザードマップ
津波や高潮の来襲時に想定される浸水範囲と水深、避難場所など、早期・確実な避難に必要な情報などを示したハザードマップです。

土砂災害ハザードマップ
大雨等により土砂災害が発生した場合に被害を受けるおそれのある範囲や避難場所などを示したハザードマップです。

河川洪水ハザードマップ
河川堤防が万が一決壊したとき避難に必要な情報（浸水想定区域と浸水深、堤防決壊想定ポイント、避難所）、土砂災害危険箇所（がけ崩れ、土石流等）、防災の心得などを示したハザードマップです。

地震ゆれやすさマップ
萩市への影響が大きいと考えられる６つの活断層【菊川断層・萩北断層・才ヶ岳断層・徳佐ー地福断層・三ヶ岳東方断層・弥栄断層帯】による地震の震度を推定し、最大震度を色分けで示したハザードマップです。

ため池ハザードマップ
古い年代に造られ、未整備のため池が決壊した場合の浸水区域を想定したハザードマップです。

防災情報の入手方法

防災情報が収集できるホームページ

1. **萩市ホームページ**　トップページに「防災情報」欄あり
2. **山口県防災危機管理課**　3、4 のリンクあり
3. **山口県防災ポータルサイト「防災やまぐち」**　気象情報・注意報、避難・被害情報
4. **山口県土木防災情報システム**　水位・潮位・降雨情報
5. **山口県土砂災害ポータル**　土砂災害の危険箇所や警戒情報
6. **下関地方気象台**　気象情報・土砂災害警戒情報
7. **国土交通省「川の防災情報」**　河川の水位
8. **山口県河川課**　津波災害警戒区域・浸水想定区域情報

萩市防災メール

萩市防災メールに登録しましょう。携帯電話やパソコンに、防災、気象、地震、津波、火災情報を電子メールで 24 時間お知らせします。（緊急地震速報は配信しません）

登録方法

「hagi@xpressmail.jp」に電子メールを送信すると、登録・変更メールが届きます。本文中の URL にアクセスして、必要事項を選択して登録してください。

配信情報確認用電話番号
050-5865-1562
（最新のメール情報が音声で確認できます）

※登録メールが届かない場合
xpressmail.jp と lg.jp のドメインから送信される URL 付きメールが受信できるように設定してください。設定方法は、取扱説明書や携帯電話販売店で確認してください。

SpeeCAN RAIDEN（スピーキャン・ライデン）

視覚・聴覚に障がいのある方、高齢者または町内会長、自主防災組織の長のご自宅へ固定電話や FAX で、避難勧告等の各種防災情報を配信するサービスです。

登録方法

防災危機管理課または各総合事務所地域振興部門、支所、出張所へご連絡ください。

事前に決めておこう！ わが家の「マイ・タイムライン」「いつ」「だれが」「なにをするのか」を時間ごとに決めてみよう！

いつ				住民の皆さんのとるべき行動	だれが	なにをするのか	
警戒レベル	気象情報 避難情報	周囲の状況	行動目安	自分に当てはめて「マイ・タイムライン」を完成させよう！	なまえ	行　動	記入例
警戒レベル1	早期注意情報（気象庁が発表）	晴れ・曇り 台風や前線の影響で数日後に大雨の予報がでている	大雨になるまでに	●災害への心構えを高める ●最新の気象情報等を入手する			・気象情報の確認 ・家族の行動予定を確認 ・携帯電話の充電
警戒レベル2	洪水注意報 大雨注意報等（気象庁が発表）	強い雨 1時間雨量 20~30mm 未満 地面一面に水たまりができる	避難前に確認すること	●ハザードマップ等で自らの避難行動を確認			・非常用持出袋を準備 ・避難方法を確認 ・貴重品を管理
警戒レベル3	高齢者等避難（市町村が発令）	激しい雨 1時間雨量 30~50mm 未満 道路が冠水し、床上浸水や河川の氾濫のおそれがある	避難する時に注意すること	危険な場所から高齢者等は避難 避難に時間がかかったり、高齢者及び障がいのある人等及びその人の避難を支援する者			・（高齢者等）避難所へ移動 ・近隣の要配慮者へ声掛け
警戒レベル4	避難指示（市町村が発令）	非常に激しい雨 1時間雨量 50~80mm 未満 河川の氾濫や土砂災害が発生するおそれが高い		危険な場所から全員避難 ●危険な区域から少しでも安全な場所に速やかに避難 ●避難先までの移動が困難な場合は近くの安全な場所、自宅内のより安全な場所に移動			・避難所へ移動 ・自宅で避難する場合、安全な部屋へ移動する
警戒レベル5	緊急安全確保（市町村が発令） ※必ず発令される情報ではありません	猛烈な雨 1時間雨量 80mm 以上 数十年に一度の大雨		災害が発生または切迫している状況			

命の危険 直ちに安全確保を！

自然が相手なので、マイ・タイムラインどおりに進むとは限りません。あくまで行動の目安として日頃から備えましょう。気象情報や避難情報などをこまめにチェックして危険を感じたら臨機応変に避難のタイミングを判断しましょう。